

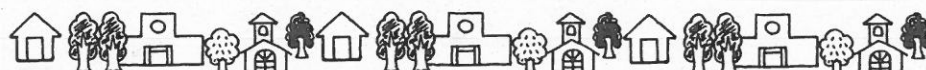
1ねん学年だよ!!

平成31年2月28日(木) 第46号



[堀江]を味わい尽くす2時間に!

大阪市において「堀江」という地域は、すぐ隣に市内有数の繁華街・難波があり、交通の便にしても、「大阪メトロ」・「JR」・「バス」などがあって、生活するのにこれ以上ないぐらい便利な街です。それでいて“おしゃれの街”としても有名で、カフェや洋服店も建ち並んでいます。そんなこともあって、最近はマンションが次々と建てられ、堀江以外の地域からたくさんの人々が引っ越してくるような場所でもあります(生徒数が増え続けているのが何よりの証拠ですね)。その一方で「堀江」は、深い“歴史と伝統”が脈々と受け継がれてきた街でもあります。



キミたちは、この地域で生まれ育った人が多いので、“おしゃれの街・堀江”のことならば、きっと先生たち以上に詳しく知っていることでしょう。しかし、“歴史と伝統ある街・堀江”の方はどうでしょう? たとえば友だちと街の中を歩くと、自転車で走るとき、登下校中…、堀江の歴史と伝統のこと、それを受け継いでいる人が今もすぐ近くにいることなど、あまり深くは考えていないのではないのでしょうか。でも、私たちは、日ごろいろいろな人と関わる中で、“相手を知ったら自分がわかり、自分を知ったら相手がわかる”ということがよくあります。それと同じように、自分が生まれ育った地域、これからも生きてゆく地域について学習することは、すなわち《自分を知ること》であり、それは《相手を知ること》につながります。それを忘れず、ぜひ明日の地域フィールドワークを、大いに楽しんでもらいたいと先生たちは思っています。



明日のフィールドワークは班活動なので、すぐ近くに先生たちがいるワケではありません。何か困ったことが起こったときも、やはり先生たちは近くにはいません。誰もトラブルに巻き込まれることなく、もちろんトラブルを起こすこともなく、無事に学校に戻ってくることを願っていますが、班活動をすることで、まるで「友だち同士で遊びに行く」みたいなノリになってしまうとトラブルに一步步近づきます。そのことは本当に気をつけないといけません。普段のキミたちの学校生活は、実は、「学校」ということに力強く守られています。学校の外に出るということは、いつも自分たちを守ってくれている学校から離れるのだということを、くれぐれも忘れないでください。明日のフィールドワーク、楽しむのはいいけど、気を引き締めて行ってきましょう!

61期生の感想より



25日(月)、「盲導犬について学ぼう」というテーマで人権学習がおこなわれました。とはいえ、話題は盲導犬だけでなく“視覚障がい”ということ全般についてお話を聞くことができました。今日は、みんなの感想からいくつかを抜粋して紹介します。改めて、深く考えてみましょう。

- ◆目が不自由な人は何も見えないと思っていたけど、いろんな種類の見え方や障がいがあることを初めて知った。盲導犬は、待っている間、ずっと静かに待っているところや、少しも吠えないところもすごいと思った。もし、町の中で盲導犬に出会ったら、自分も“温かい無視”をしようと思う。
- ◆犬の性格によって盲導犬に向いているかどうかが決まるのには驚きました。あと、先生が視覚障がい者の体験をしていたとき、とまどっている様子を見ると、視覚障がい者の人は私たちが思っている以上に不便なことだらけなのだと思います。他にも勘違いしていたことがたくさんあったので、今回のことを生かして視覚障がい者の人をサポートしていきたいと思います。
- ◆視覚障がい者の人は全員が全く見えないと思っていたが、全盲の人は全体の2割だと聞いて驚いた。その2割以外の人も、動いている物が見えないとか、周りの情報がわからないなどの不便なところがある。町の中で視覚障がい者の人を見かけたら、積極的に助けたいと思った。
- ◆盲導犬に指示を出すとき、英語で指示をしていることに気がつきました。1つ疑問で、なぜ指示を出すときに英語で出しているのか気になりました。
- ◆視覚障がいの種類や誤解されやすいことを聞いたとき、自分も思っていたことがあり、そうだったんだと納得した。それから、歩くときの方法や、盲導犬になる犬の適性を知ったとき、言われてみればそうだなと思うことがたくさんあっておもしろかった。
- ◆盲導犬の存在は知っていたけど、何をしているかは知らなかったので、今日は話が聞けてよかったです。あそこまで言うことを聞かせるには、すごい量の訓練をしているんだと思います。それだけ訓練してもストレスのたまらない犬と、楽しい訓練を生み出す人は本当にすごいと思います。町で見かけたら、自分のできることはしたいです。
- ◆今回のお話を聞いて、盲導犬と視覚障がい者の方々のことを誤解していたと思いました。盲導犬は信号を理解していると思っていたし、どう声をかければ視覚障がい者の方がしてほしいことを言ってくれるのかがわかって良かったです。外を歩いていて盲導犬を連れている人や白い杖についている人がいたら、今日教えてもらったことを実行したいです。
- ◆私は視覚障がいの種類がたくさんあるとは思っていませんでした。また、見えているけど見えていない障がいがあるなど、たくさんを知ることができました。盲導犬について楽しく学ぶことができました。これから盲導犬や視覚障がい者の方がいたら、適切な行動をしようと思います。
- ◆白杖と盲導犬がいるから手助けはいらないじゃなくて、白杖と盲導犬がいても不自由に感じることもあるとわかった。盲導犬に向いている犬の性格など、今まで知らなかったことが学べた。
- ◆今日の講話を聞いて、目が不自由な人の見え方や、白杖や盲導犬の良いところを知ることができてよかったです。盲導犬を連れている人を見かけたらどう接すればいいのかも知ることができました。もし誰かが間違っていたら教えてあげたいと思います。家族にも教えてあげたいと思います。
- ◆私は目の不自由な方は「視力障がい」しか知らなかったけど、「視野障がい」の方もいるということを知りました。盲導犬の訓練の様子はテレビで見たことがあったけど、実際にあんなに近くで仕事の様子を見たのは初めてで、たとえ盲導犬がいても生活するのは大変だろうと思いました。これからは少し注意して、街の中を見まわして、困っている人がいないか見てみようと思います。
- ◆初めは、盲導犬は厳しいしつけをやらされているんじゃないかと思っていたから、かわいそうだと思っていました。でも、実際はストレスがたまらないように楽しく優しくしつけているとのことでした。盲導犬は声でいろいろなことができることもわかった。しかも英語で。普通の犬には「待て」や「座れ」なので、少し驚いた。ウェルキン、かわいかったあー(^^)

保護者のみなさまへ

現在、学年末の懇談について希望の有無や日時をご提出いただいております。今回の懇談は希望された方のみ実施しますが、懇談を希望されない場合も、確認のため、用紙はご提出いただきますようお願いいたします。学年末テストも終わり、いよいよ学年を締めくくる時期となります。しかしながら、まだまだゴールというわけではありませんので、いろいろなことを豊かに学び、成長できるように指導していきます。これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

